

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりに応じた指導と生徒の主体性を育む学習指導を推進する。 ②福祉マインドを培う教育活動を推進する。	①ICT機器等を活用して計画的に主体的・対話的で深い学びを実現する授業を実践する。 ①コロナ禍においても、生徒の学びの保障のために、ICT機器を有効に活用する。 ②近隣の横浜市立日野中央特別支援学校との相互連携により「総合的な探究の時間」の内容を充実させる。また、生徒相互の交流をより一層推進する。	①職員に向けてClassiの活用研修会を行い、ICT機器を利用した課題配信や小テストの実施方法を周知する。 ①ICT機器や指導法に関する校内研修会を通して、ICT機器について教員の理解を深め、積極的に活用する。 ②総合的な探究の時間において、課題設定や探究活動を通して横浜市立日野中央高等特別支援学校との相互連携を図り、生徒相互の理解を深め、福祉マインドを培うことができるよう取り組む。	①前年度と比較して、各教科でのICT機器の利用率が増加したか。 ①ICT機器を活用し、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善に取り組み、生徒による授業評価の結果が向上したか。 ②横浜市立日野中央高等特別支援学校との相互連携を通して、「福祉探究」の内容を充実することができたか。					
2 生徒指導 ・支援	豊かな人間性と社会性を育み、生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。	①日頃から授業へ臨む姿勢やSNS等への注意喚起を通し、規範意識の醸成を図るとともに、支援を必要とする生徒のための教育相談体制を充実させる。 ②生徒が主体的に企画・運営を行う行事へと確立する。	①Google Classroom及びClassi等を活用することにより課題や提出物を提供し、家庭においても、さらに学習に積極的に取り組むことができる状況を作る。 ①SNS等のルールを周知徹底する。 ①校内外との連携をさらに図り、教育相談体制を確立し、一人ひとりに適切な支援を行う。 ②Google Classroom及びClassi等を活用し、一層生徒の主体的な取組を支援することにより、生徒・学級の意見を反映し、生徒会、学級、学年及び部活動の連携を活性化させる。	①課題や提出物の提出状況が向上したか。 ①SNS上のトラブルを未然に防止できたか。 ①全職員で教育相談体制を理解、確立することができたか。一人ひとりに適切な支援を行うことができたか。 ②生徒会本部や各委員会等から生徒へ向けた発信を定期的に行うことができたか。					
3 進路指導 ・支援	①生徒の主体的な活動を通して、進路実現・自己実現を果たす力を育成する。 ②進路指導計画の充実を図る。	①3年間を見通した進路計画の下、生徒が自己実現に向けて、学び実践する場を提供し進路を自ら切り開く姿勢を育成する。 ②大学入試変革に対応した進路指導を実践し、情報提供等行うことにより生徒の主体的で適切な進路選択に向けた指導を推進する。 ③キャリア・パスポートを有効活用する。	①定期的な外部試験による実力の定着、学習クラウドサービスClassiを効果的に活用し、生徒の進路実現へ向けに取り組む。 ②LHR等で進路別ガイダンスを行うなど生徒の進路選択へ計画的なキャリア教育に取り組む。 ③Classiのポートフォリオ機能を活用し、定期的に記録を残す。	①Classiを効果的に活用し、生徒の実力の向上と進路実現ができたか。 ②計画的にキャリア教育に取り組むことができたか。 ③定期的に記録を残すことができたか。					
4 地域等との 協働	地域との連携・協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	①地域連携活動及びボランティア活動を活性化させ、「福祉マインド」、「ともに生きる」こころを育む。 ②年度当初より教職員・生徒の防災意識を高めるとともに、地域区町と連携した防災体制を構築する。	②ICT機器を活用した災害図上訓練を実施することにより、コロナ禍においても効果的に生徒の防災意識を高める。 ②地域と連携した防災訓練に積極的に参加する。	②ICT機器を活用して、効果的に災害図上訓練を行うことができたか。 ②前回に比べて参加人数を10%増やし、防災訓練について地域との連携を深めることができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	(月 日実施)	成果と課題	改善方策等
5	学校管理 学校運営	①生徒が安心して通える、安全で信頼される学校づくりを進める。 ②教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。	①生徒の安全面に最大限配慮した環境を整備する。 ②タイムマネジメントを確立し、教員が健康で働きやすい職場づくりを推進する。 ③事故・不祥事防止について教員の意識を高める。	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組むため、生徒への基本的な感染防止対策の指導を徹底する。また、消毒液等を使い校内清掃に取り組むことにより、校内衛生及び美化に努める。 ①学校施設及び備品を適切に管理することにより、事故防止に努める。 ①災害時の安全に配慮した避難訓練や下校訓練を企画・実施する。 ②Teams の活用等 ICT 機器を活用することにより、業務の効率化を図る。 ③不祥事の根絶に向けた教職員の意識をさらに高めるため、事故・不祥事防止に関する研修会を実施する。	①感染症予防の習慣が生徒に浸透したか。緊急な消毒等の実施に際しても、迅速に取り組むことができたか。生徒に基本的な感染防止対策の指導を徹底したか。 ①清掃用具の充実及び清掃活動を徹底することにより、安全に学校施設及び備品を維持することができたか。 ①実際の災害を想定しながら、防災意識を高めることができたか。 ②業務の効率化を図ることができたか。 ③教職員の事故・不祥事防止への意識が高まったか。					